

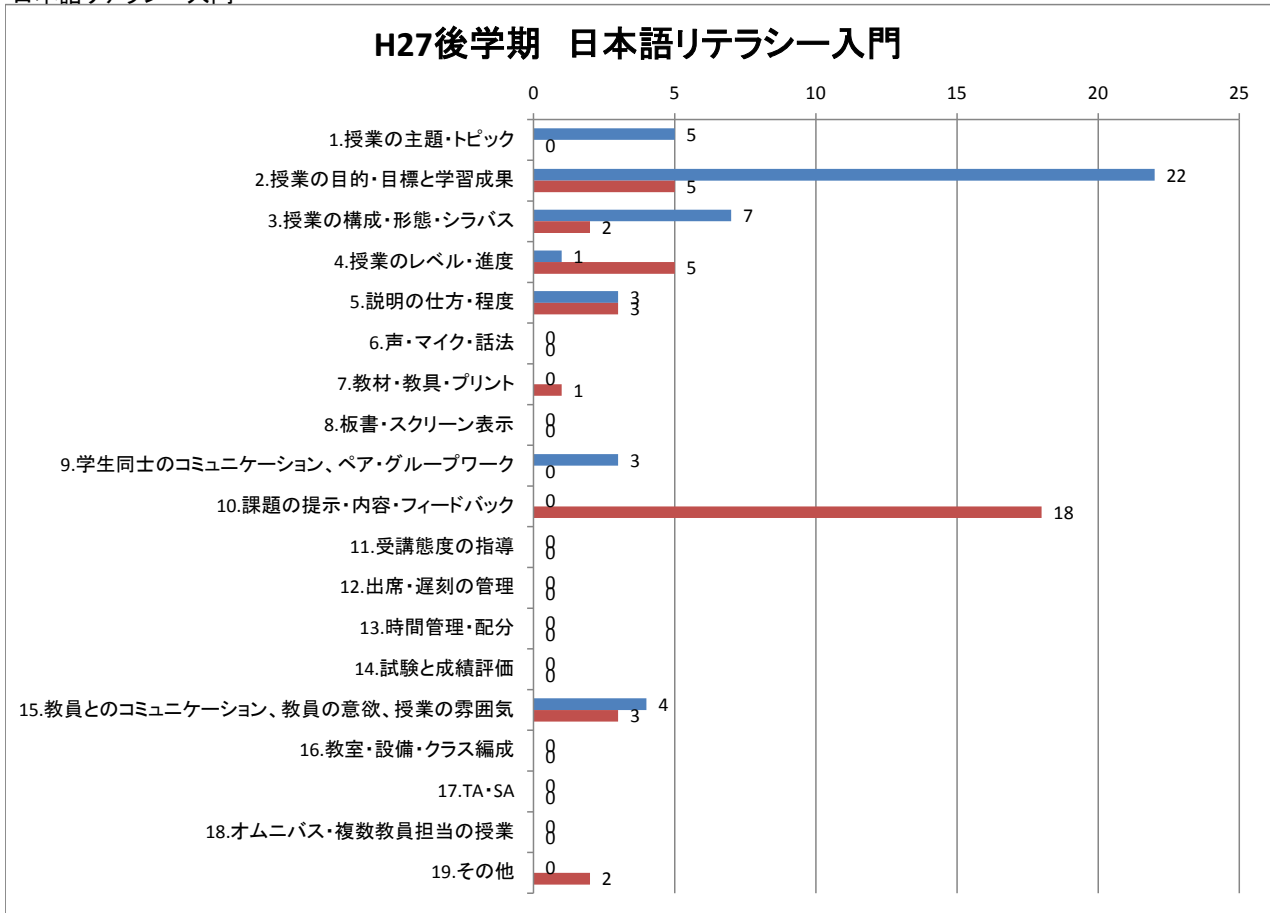
平成27年度後学期「授業改善のための学生によるアンケート」自由意見集計結果(一部科目)

カテゴリー	合計		日本語リテラシー入門		社会力入門		えひめ学		主題探究型科目		学問分野別科目	
	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×
1 授業の主題・トピック	48	10	5	0	10	7	12	1	8	0	13	2
2 授業の目的・目標と学習成果	69	16	22	5	16	2	2	9	15	0	14	0
3 授業の構成・形態・シラバス	31	11	7	2	2	4	0	1	9	3	13	1
4 授業のレベル・進度	4	19	1	5	0	0	0	0	1	4	2	10
5 説明の仕方・程度	20	6	3	3	0	1	0	0	0	1	17	1
6 声・マイク・話法	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
7 教材・教具・プリント	56	19	0	1	6	5	0	0	5	2	45	11
8 板書・スクリーン表示	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13
9 学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	17	2	3	0	0	0	0	0	14	1	0	1
10 課題の提示・内容・フィードバック	12	33	0	18	1	3	0	5	3	3	8	4
11 受講態度の指導	1	3	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1
12 出席・遅刻の管理	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
13 時間管理・配分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 試験と成績評価	4	4	0	0	1	1	0	0	0	1	3	2
15 教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気	9	7	4	3	0	3	0	0	3	0	2	1
16 教室・設備・クラス編成	1	5	0	0	1	2	0	0	0	1	0	2
17 TA・SA	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
18 オムニバス・複数教員担当の授業	5	1	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0
19 その他	11	6	0	2	0	0	0	0	1	3	10	1

A1 教員の遅刻・休講		1		0		0		0		1		0
A2 教員の不適切発言・態度		1		1		0		0		0		0
A3 不正行為への不適切対応		0		0		0		0		0		0
A4 その他		1		0		0		0		0		1

アンケート回答者のいたクラス数	76		21		8		4		24		19	
カテゴリー1～19に該当する自由意見の延べ数	292	161	45	39	39	30	16	17	60	20	132	55
自由意見の○と×のバランス(%)	64%	36%	54%	46%	57%	43%	48%	52%	75%	25%	71%	29%

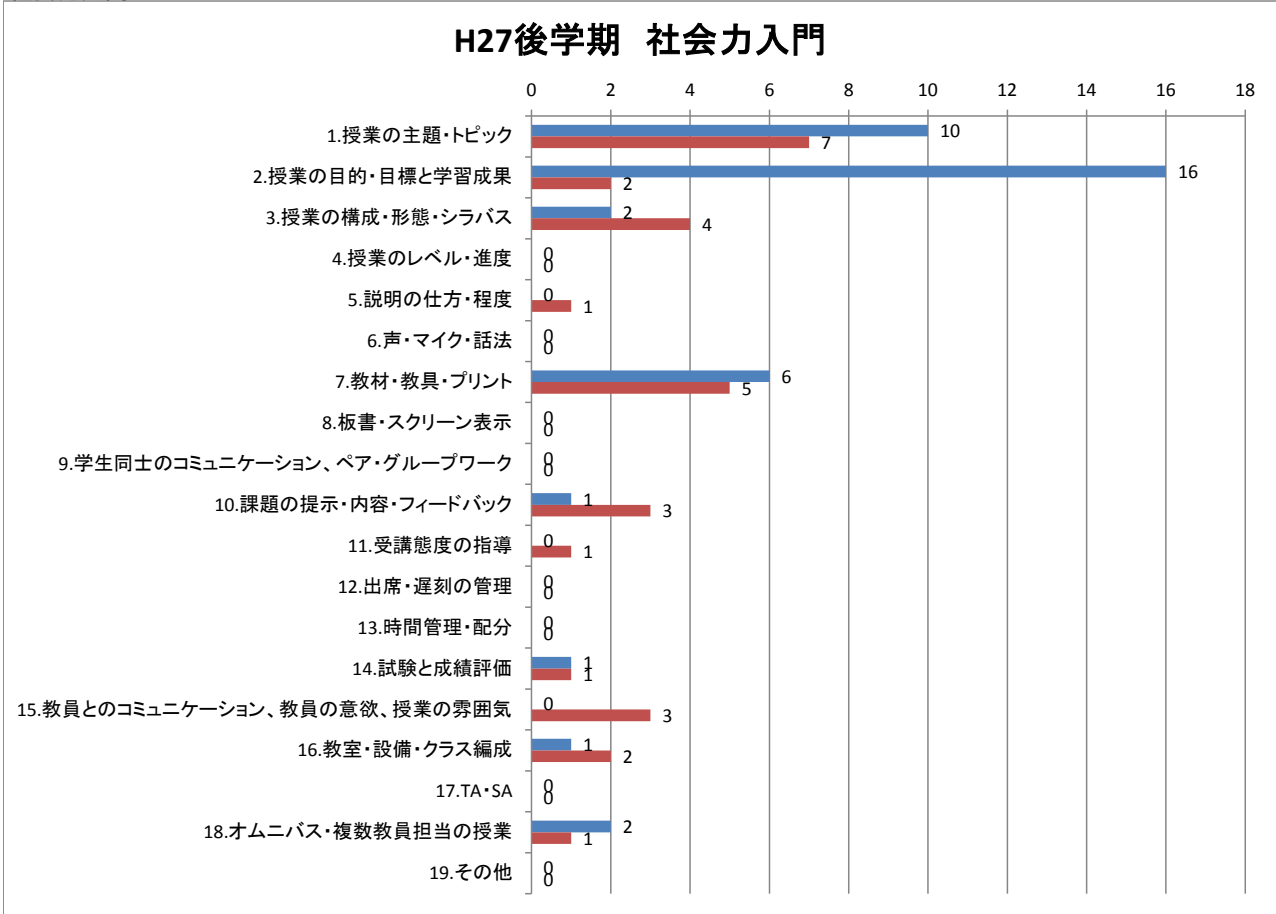
- 設問 9 「授業の良い点」
- × 設問10 「改善すべき点」



【回答例】

授業の良い点	該当するカテゴリー			
基本的な文章の書き方や、文章構成、図の読み取りなど、今後の生活の中で必要となる能力を養うことが出来た。また、授業で習ったことを課題で演習を行うことによって、理解を深めることが出来た。	2.授業の目的・目標と学習成果	1.授業の主題・トピック		
実際にポイントを学んだ後に演習を重ねているところ	3.授業の構成・形態・シラバス			
文章を書くときの基礎的なルールから、論理的文章展開の仕方など、幅広く学べたところがよかった。教員の説明も丁寧でわかりやすかった。	1.授業の主題・トピック	5.説明の仕方・程度		
イーランニングでもグループの人とコミュニケーションがとれること。	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク			

授業の改善すべき点	該当するカテゴリー			
もう少し課題の内容を有意義なものにしたほうがよい	10.課題の提示・内容・フィードバック			
授業時間外学習の課題が、一回分の授業を補う家庭学習としては不釣り合いに多すぎる。非常に負担が大きかった。	10.課題の提示・内容・フィードバック			
役に立つものであろうか根拠があまり見えない	2.授業の目的・目標と学習成果			
割と中学校、高校でやってきた内容だったので、もう少し大学生向けのレベルにしてほしい。	4.授業のレベル・進度			

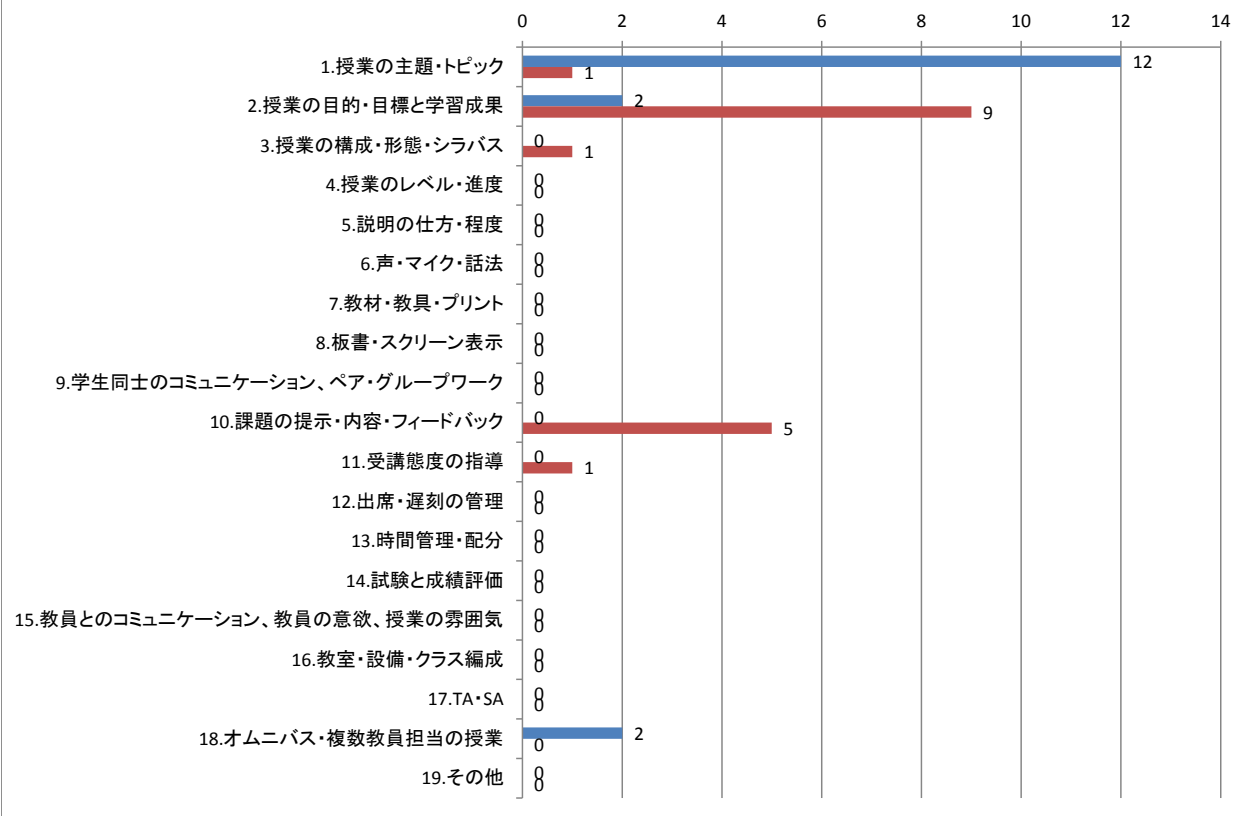


【回答例】

授業の良い点	該当するカテゴリー			
日常生活において必要な要素や一般的な社会のルールを学ぶことが出来た。そして、ムードルを使って、復習を行うことができ、また自分自身の1年間の様子を振り返ることもできた。	2.授業の目的・目標と学習成果	7.教材・教具・プリント		
これから社会に出る者として、心がけるべきこと等を学べる点。	1.授業の主題・トピック			
e-learningの授業は大変良い。	3.授業の構成・形態・シラバス			
説明にとっても適切な資料であった点	7.教材・教具・プリント			

授業の改善すべき点	該当するカテゴリー			
えひめ学と内容が似たような感じがする	1.授業の主題・トピック			
動画の再生や停止ができないので勉強に支障が出た	7.教材・教具・プリント			
机上の授業で鍛えられるものであるか疑問な点	3.授業の構成・形態・シラバス			
第7講の課題はさすがに多すぎます。適切な量でなければ、提出することが目的になってしまうのでよくないと思う。	10.課題の提示・内容・フィードバック			

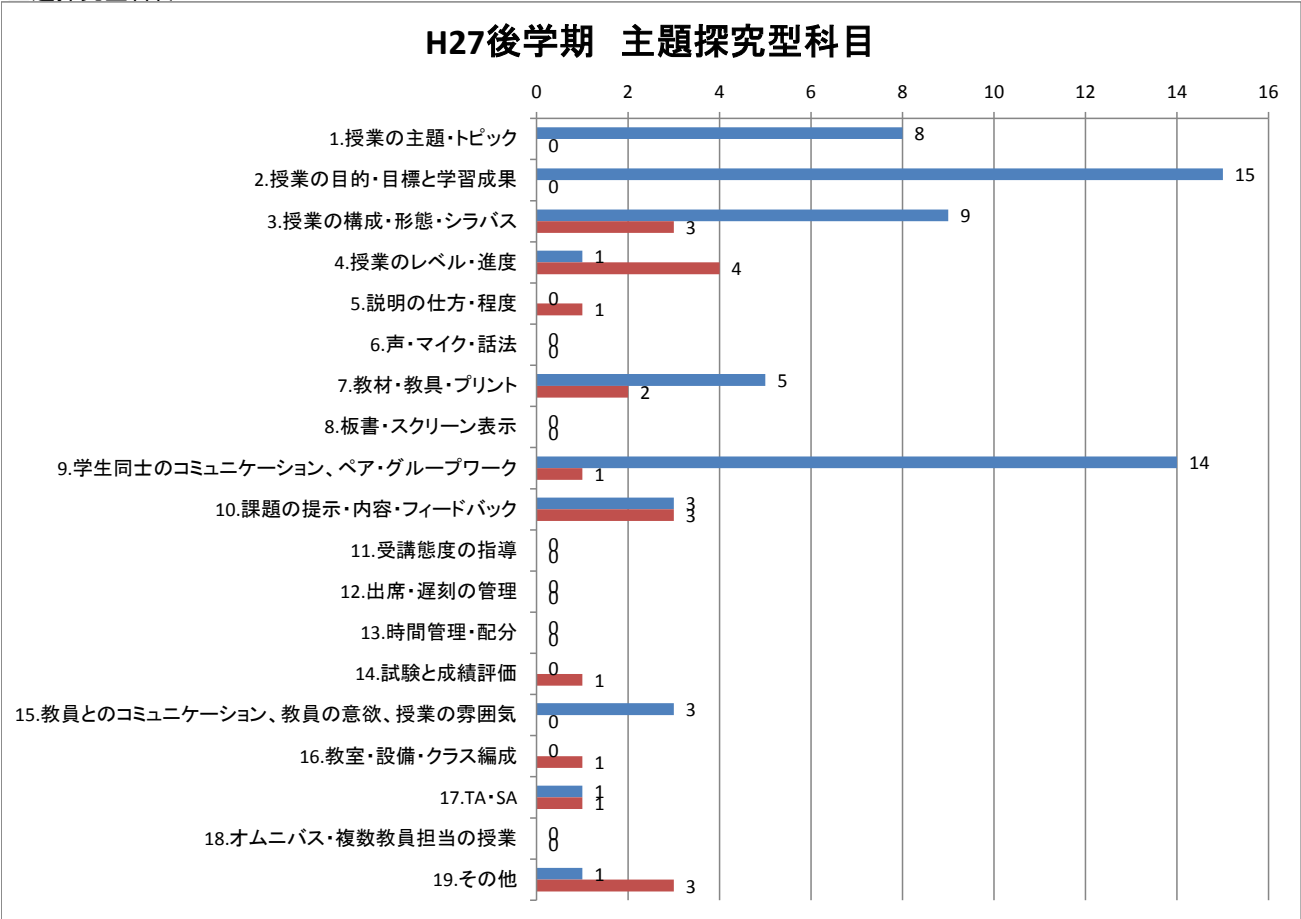
H27後学期 えひめ学



【回答例】

授業の良い点	該当するカテゴリー		
様々な分野から、愛媛の特産と現状を知ることができた。	1.授業の主題・トピック		
愛媛のローカルなことについて、よい部分悪い部分とも知ることができ、よい講義だと思う。	1.授業の主題・トピック		
抱える課題に対して考える機会になった。	2.授業の目的・目標と学習成果		
様々な方のお話を聞くことができた点。	18.オムニバス・複数教員担当の授業		

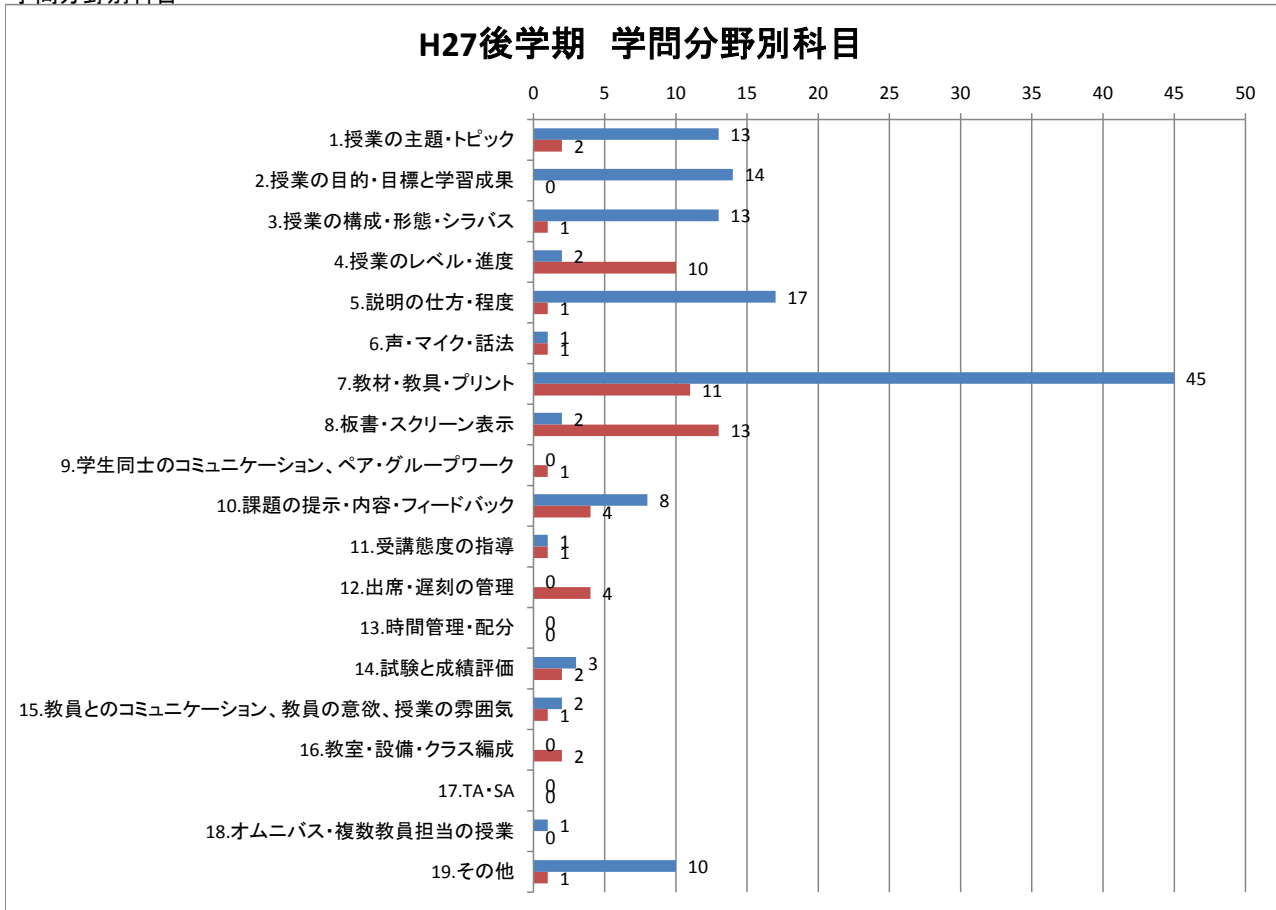
授業の改善すべき点	該当するカテゴリー		
正直この授業は時間の無駄であると感じた。何回目かは忘れてしまったが、その授業はただの教授の研究の自慢話だけだったり、他のえひめ学の授業にも言えることだがとにかく全く意味のない内容であったりしたのでいけない、もしくは問答無用で生徒に単位を与えるような授業にするべきだと思う。	2.授業の目的・目標と学習成果		
最終レポートを提出日の1週間前に出すのは、正直納得できません。時期的にも学生はほかの課題がたくさんある時期です。中間レポートのように事前に配布されなかったのは、不親切だと思う。	10.課題の提示・内容・フィードバック		
愛媛を強引に押し込んだ内容で企業や自治体、個人のただのPRの場と成り下がっている。愛媛出身としては少しだけおもしろいが、他県出身者にとっては苦痛であろう。	1.授業の主題・トピック	2.授業の目的・目標と学習成果	
手を挙げないということは、特に何も言いたいことがないからなので、指名しないでほしい。	3.授業の構成・形態・シラバス		



【回答例】

授業の良い点	該当するカテゴリー		
身近な問題について詳しく知ることができ、考えることができる さまざまな考えた方を得ることができる	2.授業の目的・目標と学習成果		
グループディスカッションが存在するため、他の人の意見を聞き、 自分の意見と比較したり、新たな発見がある。といったところが良い。	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク		
学生が自らプレゼンテーションを製作し、それについてTAの方や先生からアドバイス等をいただけたため、非常にためになる授業でした。	3.授業の構成・形態・シラバス	17.TA・SA	
海洋に対する知識及び、それを活用したレポートを班で作ることにより、大学生に必要な知識を身につけることができる。	1.授業の主題・トピック		

授業の改善すべき点	該当するカテゴリー		
共通科目ということで文系の人も多いと思うので、もう少し文系の人でも分かるような内容にしてほしい。	4.授業のレベル・進度		
もう少し全体で話し合う場を設けたらいいと思う。	3.授業の構成・形態・シラバス		
課題提出の期間が短すぎたと思う。	10.課題の提示・内容・フィードバック		



【回答例】

授業の良い点	該当するカテゴリー			
パワーポイントの解説だけでなく、動画を頻繁に用いてくれるのでわかりやすかった。今日の植物病害は、ホットな話題で興味を惹かれるものばかりであった。	7.教材・教具・プリント	19.その他		
解説がとてもわかりやすかった。	5.説明の仕方・程度			
東京や大阪などが都市化していく際の性質の違いなどについて学べたのが面白く、良かったと思う。また、国鉄と私鉄の関係や田園都市の広がり方なども興味深く、楽しんで聴講できた。途中でビデオを流してくれたので眠くなることも少なかったように思う。	1.授業の主題・トピック	3.授業の構成・形態・シラバス	7.教材・教具・プリント	
自分とはあまり関係ない分野だと思っていたが、つながりも見つけられ興味を持てる授業だった。	2.授業の目的・目標と学習成果			

授業の改善すべき点	該当するカテゴリー			
スライドの字が見にくい。	8.板書・スクリーン表示			
動画の日本語訳が少し見えづらかったです。	8.板書・スクリーン表示			
生物を高校で未履修の人に対しては、難易度が高いように感じた。	4.授業のレベル・進度			
遅刻者が多いことが、自身の学習への意欲を阻害される。	12.出席・遅刻の管理	11.受講態度の指導		